

# 総合交通メールマガジン

第65号

平成26年1月22日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）

## 総合交通メールマガジンとは

### Topics

- ◆山梨県甲州市におけるオンデマンドバスシステムの取り組み  
(甲州市 市民課)
- ◆有償ボランティアタクシー「がんばらマイカー」の取り組み  
(公益社団法人 豊根村シルバー人材センター)

## 総合交通体系グループだより

- ◆「ICT を活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(第11回)について  
(国土交通省 政策統括官付)
- ◆『地域モビリティ確保の知恵袋2013 ～災害時のモビリティ確保に向けた取り組みのススメ～』～ いつでもご質問に対応致します。～  
(国土交通省 総合政策局 総務課)

### Infomation

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！
- ◆～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～



## 総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者となっております。

当メールマガジンで紹介させていただく記事については、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)



## Topics

### ◆山梨県甲州市におけるオンデマンドバスシステムの取り組み

(甲州市 市民課)

山梨県甲州市では、平成23年11月から「オンデマンドバスシステム」の試験運行を実施しています。市がタクシー会社にバスの運営を委託し、デマンドバス（5台）が走行しています。市では、もともと路線バスの運営に年間1億2,000万円の経費をかけ、様々な利用促進施策を講じてきたものの、高齢者等から、「便数が少ない」、「バス停が遠い」という声が多く、路線バスの乗車率は伸びませんでした。

そこで、オンデマンドバスシステムの導入に際しては、高齢者が利用しやすいように、バス停の数をこれまでのおよそ5倍に増設し、自宅から徒歩でアクセス可能な200メートル以内に必ずバス停を配置しました。また、バスの予約受付については直近60分前まで可能とし、運行日は月曜日～土曜日（祝祭日は除く）としております。

オンデマンドバスの登録者数は1,612人にのぼり、平日の乗車人数は1日当たり80人を超えています（平成25年7月現在）。

今後は、更なるサービスの向上に向けて、「経路運行の導入」、「定時定路線運行（予約）の実施（一部地区で先行実施済）」、「高速バスへの連携」、「料金外収入の確保（デマンドバス広告）」等の課題への対応を検討する必要があると考えています。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1401koshuushi.pdf>





## ◆有償ボランティアタクシー「がんばらマイカー」の取り組み

(公益社団法人 豊根村シルバー人材センター)

愛知県豊根村は、長野県、静岡県との県境に位置し、人口1,280人(550世帯)、総面積155.9km<sup>2</sup>(うち93%が森林)、高齢化率45%の少子高齢化が著しい山間過疎地域です。

村内の公共交通機関は、村営バスのみであり(富山地区については、JR飯田線を利用することが可能)、民間バスもタクシー会社もありません。また、村営バスは点在する集落全てをカバーしていないうえ、バスの運行は通園、通学、及び通院の時間帯が中心で運行本数が限られており、自家用車を持たない高齢者等の生活交通手段の確保が課題となっていました。

このため、村は、高齢者等の足の確保を目的に、平成15年の実証実験を経て、平成16年8月に中部運輸局の過疎地有償運送の許可を受け、有償ボランティアタクシー(がんばらマイカー事業)を開始しました。現在では、村から業務委託を受けた公益社団法人 豊根村シルバー人材センター事務局(以下「事務局」という。)が当該事業の運営を行っています。

平成24年の利用者数は、935人(うち村外への利用者の割合は19%)にのぼり、利用者からも、「隣の病院までの通院に、毎回がんばらマイカーを頼んでいる。村営バスより割高だが、家まで来てくれるのでとても助かる。」「がんばらマイカーは、庭先まで迎えに来てくれるからありがたい。」等の声が聞かれています。

《記事はこちら↓》

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1401toyone.pdf>



## 総合交通体系グループだより

### ◆「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(第11回)について

(国土交通省 政策統括官付)

国土交通省では、ICTを活用した歩行者の移動支援施策を一層推進し、今後の方向性について検討を行うため、平成22年9月より国土交通大臣政務官の主宰の下、「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(座長:坂村健 東京大学大学院情報学環教授)を設置し、議論を行っています。

当該勉強会においては、「Gov2.0<sup>\*1</sup>」の考え方に基づいて、障がい者を対象とした、歩行者移動支援の運用の仕組みづくりを進め、その中での国の役割を明確にする。」「歩行者移





動支援と歩行空間ネットワークデータ<sup>※2</sup>の重要性について、地方公共団体等の認知度を向上させるため、普及啓発に取り組む。」という取組方針のもと、今後必要となる施策等について、委員の方々から様々なご助言、ご意見を頂いています。

この度、第11回勉強会が開催されましたので、ご紹介させていただきます。

※1 Gov2.0

米国のメディア企業オライリー・メディアの創設者であるティム・オライリーが提唱した概念であり、情報流通のために政府がプラットフォームとなる（government as a platform）ことを基本理念とする。

※2 歩行空間ネットワークデータ

歩行経路を示す「リンク」とリンクの結節点である「ノード」によって構成されたデータ群。リンクには階段や段差、道幅等の経路情報が付与され、ノードには緯度経度や高さ等が属性情報として登録されている。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1401ict.pdf>

《ICTを活用した歩行者の移動支援の推進はこちら↓》

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_mn\\_000002.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html)

◆『地域モビリティ確保の知恵袋2013 ～災害時のモビリティ確保に向けた取り組みのススメ～』～ いつでもご質問に対応致します。～

（国土交通省 総合政策局 総務課）

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系）では、『地域のモビリティ確保の知恵袋2013 ～災害時のモビリティ確保に向けた取り組みのススメ～』を発刊しています。

『地域のモビリティ確保の知恵袋2012 ～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～』を地域における事前の取り組みに役立てて頂くために、東日本大震災後の災害に備えた取り組み事例等を調査し、平常時から災害時に備えた地域における取り組みの実践に資する工夫・ノウハウをとりまとめたものです。

ご質問など御座いましたら、いつでも対応致します。

《「地域モビリティ確保の知恵袋2013 ～災害時のモビリティ確保に向けた取り組みのススメ～」はこちらから↓》

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_tk\\_000038.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000038.html)





## Information

### ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

### ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp))

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて76件の取り組みを紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)

### ◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。（連絡先の追加でも結構です）





なお、変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 中川 敏正

TEL : 03-5253-8111（内線53-113）

FAX : 03-5253-1675

E-mail : [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

